

計画事業番号	00652	事務事業名	下水処理センター整備事業	担当部署	水道部下水道課	電話	884
--------	-------	-------	--------------	------	---------	----	-----

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	下水道法第3条第1項			
事務事業開始年度	昭和45年度		個別計画等	北広島市公共下水道事業計画(S45~H32)、北広島市公共下水道基本計画(S43~H32)、北広島市下水道中期ビジョン(H24~H33)			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ハード事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助・単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第5章) 快適な生活環境のまち
	(第6節) 下水道の整備
	(施策1) 下水道の整備と利用の促進
2 対象	北広島下水処理センター
3 目的と内容	市街地における快適で衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため、老朽化した施設・機器の更新を、平成26年度策定の「下水処理センター基本計画」及び平成27年度に策定した「下水処理施設等長寿命化計画」に則り計画的に実施する。 下水道施設長寿命化計画策定事業のうち下水処理センターに係る計画については、本事業に統合し計画的に策定を行う。
4 実施内容(手段)	27年度まで 北広島下水処理センターの汚水処理施設は昭和45年度から整備を開始し、平成13年度に3系列の整備が完了した。老朽化施設についても計画的に更新を進めてきた。平成22年度に生ごみ受入処理施設の整備が終わり受入を開始した。 平成24年度にはし尿浄化槽汚泥受入処理施設の整備が完了し、平成25年度から受入を開始した。 平成26・27年度は汚泥乾燥機等老朽化施設の更新を実施。
	28年度 平成27年度に策定した「下水処理施設等長寿命化計画」に基づき、施設・機器の更新工事を実施する。

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
処理センター場内整備 No.2乾燥機設備更新 ボイラー設備更新 強制濃縮棟電気設備更新 汚泥貯留槽攪拌機更新 消化槽内部改修 機器更新実施設計 公共下水道認可変更	処理センター場内整備 No.2乾燥機設備更新 ボイラー設備更新 強制濃縮棟電気設備更新 汚泥貯留槽攪拌機更新 消化槽内部改修 機器更新実施設計 公共下水道認可変更 長寿命化計画策定	2-1消化タンク機器更新 汚泥ポンプ更新 強制濃縮棟電気設備更新 ガスタンク設備更新 次亜タンク・ポンプ更新 機器更新実施設計 2・3系水処理耐震調査	2-1消化タンク機器更新 蓄電池盤外更新 強制濃縮棟床排ポンプ更新 脱硫設備更新 機器更新実施設計 2・3系水処理棟耐震設計	2-2水処理施設機器更新 2-2消化タンク機器更新 3系水処理棟耐震工事 機器更新実施設計

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	市街地における快適で衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため継続する。また、事業内容は人口減少により処理能力の増強は必要なく、予防保全を目的とした改築更新へ変化していることから評価方法を見直す必要がある。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			435,754	467,689	326,905	241,305
事業額	直接事業費	国支出金	193,940	233,720	176,450	130,400
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	237,481	229,129	139,455	99,905
		その他特財	877	2,100	1,000	1,000
		一般財源	3,456	2,740	10,000	10,000
		① 合計	435,754	467,689	326,905	241,305
	人件費	② 人数(年間)	2.30	2.30	2.30	2.30
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	20,700	20,700	20,700	20,700
		総事業費①+④	456,454	488,389	347,605	262,005

【評価指標】

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 整備済污水处理能力	目標値	m ³ /日	28,767	32,600	32,600	32,600
		実績値		24,933			
	② 流入汚水量(晴天時最大)	目標値	m ³ /日	27,690	27,690	27,690	27,690
		実績値		19,287			
	③	目標値					
		実績値					
	④	目標値					
		実績値					
成果指標	① 汚水処理施設整備率	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		86.7			
	② 現有能力に対する流入汚水	目標値	%	100以下	100以下	100以下	100以下
		実績値		77.4			
	③	目標値					
	実績値						
【指標の定義(算式等)】							

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	下水道は、市民が快適で衛生的な生活をする上で必要な施設であり、下水道法により、公共下水道の設置、改築は市町村が行うこととされている。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	予防保全に基づく改築更新を計画的におこなうことで、機器の健全を確保している。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	財政計画や長寿命化計画を基本に、必要に応じて計画を修正することで成果の向上を目指している。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	工事等の発注に際しては必要な機器の評価をおこない、経済的な機器の選定を行っている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。